

本物。品訪

鹿児島県 特産 特探

2014 かごしまの新特産品コンクール
鹿児島県特産品協合理事長賞

かごめ すかしぼり おび どめ

籠目透彫帯留

薩摩焼の伝統技法「籠目透かし彫り」を施した帯留。光沢のある、緻密に彫られた六角形の編み目が、薩摩焼の無垢な白さを引き立てます。

指宿市の薩摩彫刻陶芸 窯元南楓山の上別府雅楓さんにお話を伺いました。

籠目透かし彫りの技法とは

刃先の尖った「剣先」などの道具を使い、半乾きの粘土生地表面を六角形の紋様にくりぬく彫刻技法です。竹籠のような紋様なので「籠目」といわれています。

私の場合は、「生地成型→透かし彫り→焼成」までの全行程を一人で完結しています。

また、元来の製法である六角を広げる技法ではなく、六角に切った抜き取る独特な技法で彫っています。そのため彫りのスピードがアップし、粘土が乾くまでの間により多くの透かし彫りを施すことが可能になりました。



格調高い白薩摩の帯留は、さまざまな着物や帯との組み合わせを楽しむことができます。

帯留の制作のきっかけは

籠目透かし彫りは、香炉の蓋などに施される伝統的な技法の一つです。私は数少ない香炉彫りの職人として、より高度な技を追求してきました。白薩摩の香炉といえば美術品として扱われ、技が高度になるとより一層高価になり、一般的に馴染みが薄くなります。また、住宅事情などもあり、床の間に香炉を飾る機会も少なくなってきました。

そこで、「この籠目透かし彫りの美しさを、より多くの方に親しんでいただきたい」という思いから帯留を制作しました。

帯留は、帯ひもで締めたときにずれないように底を平らにするなどの工夫をし、帯や帯ひもの幅とのバランスも試行錯誤を重ね調整しました。お客さまのご希望にあわせて大きさや形を変えることも可能です。

今後の抱負を聞かせてください

これからも籠目透かし彫りの技を追求しつつ、これを生かした花瓶や器などももっと手がけていきたいと思っています。これらは、花や料理をより引き立てるプレミアムな器になるでしょう。

また、ブローチなどのアクセサリにも挑戦したいです。これからの挑戦が、籠目透かし彫りの伝統技法を美術品だけでなく、若い方にも身近に利用していただけることに繋がると思っています。



「伝統工芸士として、希少な技の継承のために今後も精進していきたい」と語る上別府さん。

プレゼントコーナー

籠目透彫帯留を1名様にプレゼント。

応募締切 平成27年4月30日(木)

応募方法 ハガキ、FAXまたは電子メールに
①「グラフかごしま」に関するご意見・ご感想 ②郵便番号

③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業 ⑦電話番号を記入のうえ、下記までお送りください。

ハガキ宛先 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県広報課「グラフかごしまプレゼント係」

FAX 099(286)2119 (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

メール h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

※いただいた個人情報は、プレゼント送付以外の目的には利用しません。
※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

広告



籠目透彫帯留

価格21,600円(税込) 縦4cm×横6cm×厚み1.5cm(標準)

薩摩彫刻陶芸 窯元南楓山
〒891-0404
指宿市東方334-2
電話&FAX
0993-23-4688
<http://nanpu-zan.jp/>